

2023 年度版 あいち観光戦略に基づく観光振興施策の実施状況 (2022 年度年次報告書) の概要

愛知県観光振興基本条例第 9 条第 6 項の規定に基づき、「あいち観光戦略」(2021-2023) に定められた観光振興に関する施策の実施状況について、県議会に御報告するとともに、公表を行う。

第 1 数値目標の進捗状況

2022 年の本県の観光は、2020 年以降のコロナ禍からの回復傾向が鮮明となり、特に、全国旅行支援などの政策的な需要喚起が図られた国内観光においては、コロナ禍前の水準を超える指標もあった。しかしながら、インバウンドを含めた全体では、コロナ禍前の水準を回復するには至っていない。

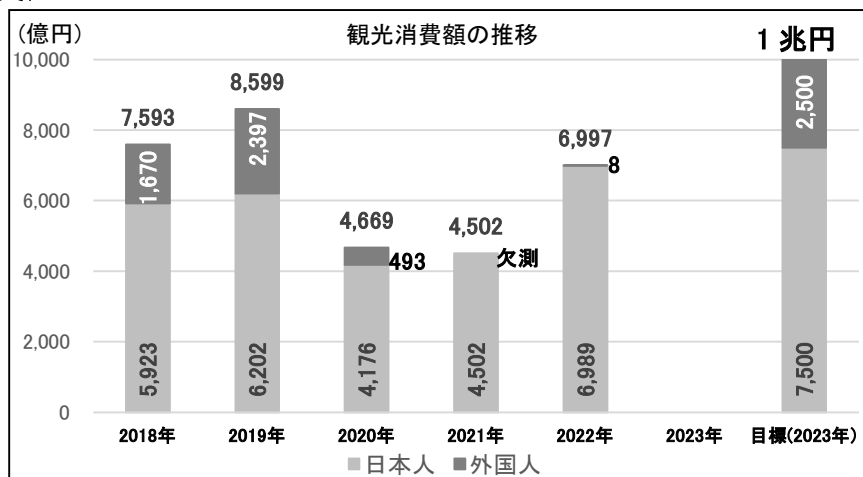
* なお、2022 年は新型コロナウイルス感染症の影響で、必要な調査を実施できず、欠測となった指標がある。詳しくは、本冊を参照。

(1) 観光消費額 (本冊 4 頁)

日本人の観光消費額は、コロナ禍前の 2019 年を上回るほど回復した一方、外国人旅行者の観光消費額は依然として「蒸発」したままとなっている。

県外在住者の宿泊旅行者は、2021 年と比較して、1.7 倍以上に伸びている。

国による地域観光事業支援を活用した「あいち旅 e マネーキャンペーン」、「LOVE あいちキャンペーン」(いわゆる県民割) や「いいじゃん、あいち旅キャンペーン」(全国旅行支援) の効果があったことが推察される。

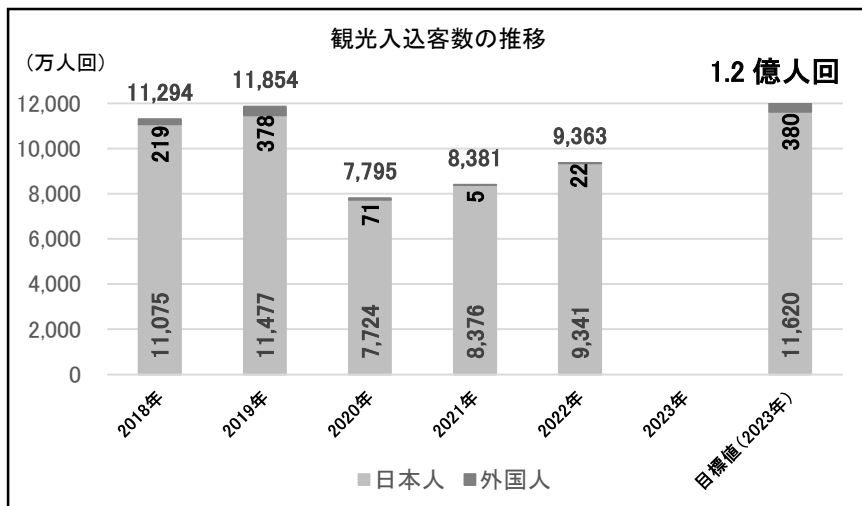


【参考】居住地・宿泊/日帰り別観光消費額の推移

	2021 年(百万円)	2022 年(百万円)	2022/2021 年比
県内在住者・宿泊	87,590	126,786	144.7%
県内在住者・日帰り	154,119	205,967	133.6%
県外在住者・宿泊	149,162	265,156	177.8%
県外在住者・日帰り	59,329	100,957	170.2%
訪日外国人・宿泊*	—	749	—
訪日外国人・日帰り*	—	—	—

(2) 観光入込客数【量】(本冊 5 頁)

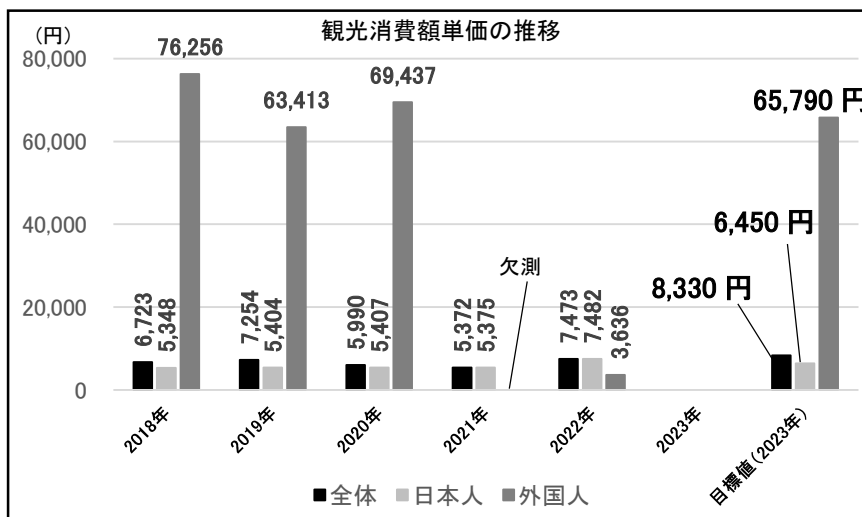
観光入込客数は、2021年比で、日本人・外国人ともに増加となったが、外国人の絶対数はまだまだ低い水準に留まっており、日本人客による市場の下支え傾向が顕著である。



(3) 観光消費額単価【質】(本冊 7 頁)

日本人の観光消費額単価は、2021年と比較して 39.2%増と大きく伸び、観光入込客数の伸び(11.5%増)を大きく上回った。

観光消費額の増加は、客数よりも単価の上昇が寄与したものと推察される。



第2 2022年度の主要な観光振興施策の実施状況(抜粋)

柱1 「あいち『ツウ』リズムの推進」

ジブリパークの開園(2022年11月)効果を広く波及させるため、ジブリパークチケット販売サイト内に開設した特設サイト「ジブリパークのある愛知への旅」において、スタジオジブリ作品のファンに喜んでいただけそうな観光プログラムや周遊観光モデルコースを紹介。

また、2023年1月から放送が開始された大河ドラマ『どうする家康』は、本県の「武将観光」を全国に広くPRし、観光誘客の拡大と周遊観光の促進の契機となるため、デジタルスタンプラリーや岐阜県、静岡県と連携した観光キャンペーン、インフォメーションセンターの開設等を実施。

さらに、訪日旅行関心層のうち、観光地としての愛知県を認識していない人に対し、言語ごとに関心の高いコンテンツを掲載した特設サイト「AMAZING AICHI Japan」を8言語で開設。

柱2「受入れ体制の整備・充実」

多言語コールセンターの運営や、案内標識、案内板等の多言語化の促進に取り組んだ他、リノベーション等による県内の宿泊施設の高付加価値化支援、ハイレベルな国際会議の開催や海外の富裕層旅行者等の誘致に向けた高級ホテルの立地促進等に取り組んだ。

柱3「観光交流拠点としての機能強化」

観光交流拠点を中心に県内各地への周遊・宿泊につなげるための取組を行った他、広域観光を担う中央日本総合観光機構や東海地区外国人観光客誘致促進協議会を通じた事業等を実施。

柱4「MICEの誘致・開催、Aichi Sky Expo（愛知県国際展示場）の活用」

「愛知・名古屋MICE推進協議会」を通じた取組を実施した他、Aichi Sky Expoの活用にも継続して取り組んだ。

柱5「持続可能な観光の実現」

持続可能な観光の実現には、観光人材の確保と育成が欠かせないことから、地域の魅力を伝えられる人材の育成や就業前の人材に対する観光関連産業の魅力の普及等を実施。

柱6「ウィズコロナ・ポストコロナへの対応」

感染状況に応じた誘客として、県民や近隣県からの県内旅行を促す「あいち旅eマネーキャンペーン」及び「LOVE あいちキャンペーン」、全国からの県内旅行を促す「いいじゃん、あいち旅キャンペーン」等を実施。

第3 2023年度の主要な観光振興施策（抜粋）

2022年度に引き続き、柱1～6に基づく事業を実施する。

大河ドラマ『どうする家康』、ジブリパークを活用した誘客・県内周遊については、継続して取り組む他、フランスで開催されたヨーロッパ最大級の日本文化関連イベント「Japan Expo」への出展(7月)、「2023日台観光サミット in 愛知」での歓迎晩餐会等の開催(9月)における台湾の旅行業界関係者への「おもてなし」の実施など、インバウンド再開に向けた各種施策を実施。

また、Aichi Sky Expoにおいて、新規展示会として、スマートシティをテーマとした「Smart City Park from AXIA EXPO」の開催(10月)、欧州最大級の総合産業展示会「グローバル・インダストリー」の日本版「SMART MANUFACTURING SUMMIT BY GLOBAL INDUSTRIE」(2024年3月)の開催に対し支援を実施。

この他、愛知県「休み方改革」プロジェクトとして、平日の旅行を促す『あいちスキ旅キャンペーン』等を実施。